

生涯学習部の報告事項

1. 町田市教育委員会定例会

(1) 2022年度 第4回 定例会 (2022年7月1日)

<議案>

【生涯学習センター】

- ・議案第8号：町田市立学校施設の開放に関する条例施行規則の一部を改正する規則について

<報告事項>

【生涯学習センター】

- ・報告事項4：「平和祈念事業」の開催について

開催期間：7月11日（月）～8月11日（木）・7月29日（金）・8月5日（金）～8月9日（火）

【文学館】

- ・報告事項5：「竹上妙の絵本と木版画 たけがみ ZOO 展～いきものと目が合った！～」の開催について

開催期間：7月23日（土）～9月25日（日）

(2) 2022年度 第5回 定例会 (2022年8月5日)

<議案>

【生涯学習総務課】

- ・議案第13号：第6期町田市生涯学習審議会委員の委嘱について

陶山委員の委嘱について承認を受けた。

<報告事項>

【生涯学習総務課】

- ・報告事項6：自由民権資料館の休館について

休館期間：9月5日（月）～11月2日（水）

【文学館】

- ・報告事項7：「将棋作品をひもとく！ “読む将” のススメ展」の実施報告について

開催期間：4月29日（金・祝）～6月26日（日）

(3) 2022年度 第6回 定例会 (2022年9月16日)

<議案>

【文学館】

- ・議案第19号：第6期町田市民文学館運営協議会委員の委嘱について

<報告事項>

【生涯学習総務課】

- ・報告事項6：令和4年度函館市縄文文化交流センター企画展『「カックウ」と「まっくう」』展の開催について

開催期間：9月27日（火）～10月30日（日）

【生涯学習センター】

- ・報告事項7：「町田市生涯学習推進計画2019-2023」に係る2021年度事業の報告について

【生涯学習センター】

- ・報告事項8：「平和記念事業」の実施報告について

開催期間：7月11日（月）～8月11日（木）・7月29日（金）・8月5日（金）～8月9日（火）

（4）2022年度 第7回 定例会（2022年10月7日）

<報告事項>

【生涯学習総務課】

- ・報告事項2：町田市立自由民権資料館の常設展示リニューアルに伴う施設の休館について

町田の歴史と自由民権運動をわかりやすく紹介するために常設展示をリニューアルし、開館記念日の11月3日に合わせて「自由民権運動と町田」を公開。関連企画として記念講演会を実施。

講演会開催日：11月20日（日）14：00～16：00

講師・演題：福田淳氏（大正大学文学部教授）「都市と地域から考える自由民権」

【生涯学習センター】

- ・報告事項3：「2022年度生涯学習センターまつり」の開催について

開催期間：10月22日（土）～10月23日（日）

【図書館】

- ・報告事項4：町田市立図書館電子書籍サービスの開始について

開始日時：10月18日 10時～

対象：利用券をお持ちの市内在住、在勤、在学の方

利用方法：図書館ホームページのリンクから専用サイトにアクセス

【文学館】

- ・報告事項5：「浅野いにお展 —the personality of the city—」の開催について

開催期間：10月22日（土）～12月25日（日）

映画「ソラニン」上映会：11月26日（土） / カツセマサヒコ×浅野いにお記念対談：12月4日（日）

浅野いにおトークショー：12月11日（日）

- ・報告事項6：「第16回文学館まつり」の開催について

開催期間：10月23日（日）10：00～16：00

2. 町田市議会定例会

(1) 町田市議会6月定例会

<一般質問>

村まつ 俊孝議員 (6月16日)

「なんでもスマホ相談室」等のこれまでの取組状況と今後の計画は。

(生涯学習部回答)

2021年度は、生涯学習センターや中央図書館の他、町内会館や市民センターへ出向き、合計42回の講座を実施し、受講者は延べ364人。2022年度は、2021年度と同様の講座を拡充して合計63回実施し、受講者は延べ645人を予定。

田中 美穂議員 (6月17日)

- ・町田市生涯学習センターのあり方見直し方針の事業の見直しの内容について問う。
- ・市民の生涯学習の機会を充実させるために、市がより積極的な役割をはたすべきだがどうか。

(生涯学習部回答)

- ・生涯学習センターの目指す姿として、「1 市民がいつでもどこでも学ぶための情報を得ることができる環境がある」、「2 多様な市民が地域や時間の制約なく学んでいる」、「3 市民が学んだ知識を自身の生活に活かすことができている」の3つを掲げている。これらの目指す姿を実現するために事業の見直しの検討を行い、実行計画を2022年度に策定。
- ・「町田市生涯学習センターのあり方見直し方針」では、運営理念を「学びに合う機会と学習成果をいかに提供するための中核施設を担う」と定めており、これからも運営理念に基づき役割を果たしていく。

新井 よしなお議員 (6月21日)

- ・鎌倉井戸について事故と撤去の経過を問う。
- ・今後の鎌倉井戸はどのようになるのか。

(生涯学習部回答)

2022年4月5日19時頃、町田市指定旧跡「伝鎌倉井戸」の井戸枠が壊れているという通報を受けた。現地に出向き状況を確認し、井戸枠が大破していたため、安全上の理由から一時的に撤去。撤去後、復元方法について検討した内容を町田市文化財保護審議会に報告し、再発防止策を講じながら復元するようとの意見を頂いた。

(2) 町田市議会9月定例会

<一般質問>

三遊亭 らん丈議員 (9月1日)

- ・鶴川駅前図書館はどのように変わったのか。
- ・電子書籍サービスの目的と対応状況は。

(生涯学習部回答)

- ・鶴川駅前図書館では、2022年4月1日から指定管理者制度を導入し、「久美堂・ヴィアックス共同事業体」が運営。指定管理者制度の導入を機に、開館日時を拡大し、今まで以上に利用しやすくなったと認識。通勤通学客が多い駅前の立地特性や、民間のノウハウを活かしたサービスを提供している。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により急速に進んだ暮らしの変化や、デジタル化に対応するため、電子書籍サービスを導入。また、デジタルサービスに慣れていない方へのデジタルデバイドの解消にも寄与すると考えている。

若林 章喜議員（9月1日）

遠藤周作生誕100年に向けて

- (1) 遠藤周作氏と町田市の関わりとこれまでの取り組みについて
- (2) 来年、生誕100年に向けての取り組みは。

(生涯学習部回答)

1997年に遠藤周作に関する資料をご遺族から寄贈されたことをきっかけに、2006年10月に町田市民文学館を開館。

これまで、遠藤周作の展覧会を2007年と2014年に実施したほか、没後15年、生誕90年、開館10周年の節目に合わせて朗読会や対談、講演会などを実施。生誕100年にあたる来年2023年には、10月から12月にかけて、改めて展覧会を実施予定。

田中 美穂議員（9月6日）

公立図書館の直営の継続を求めて

- (1) 鶴川駅前図書館の指定管理者の構成企業に対するサーバ不正アクセスについて内容、対策を問う。
- (2) 指定管理者制度導入後の図書館サービスについて問う。
- (3) 指定管理者制度導入後の職員の待遇について問う。
- (4) 他の地域館への指定管理者制度導入はすべきでないがどうか。

(生涯学習部回答)

- ・(1) について、指定管理者の構成企業の内部システムサーバがランサムウェアによる攻撃を受け、一部データが使用できなくなったと報告を受けた。図書館の利用者データなどを管理する鶴川駅前図書館の業務用端末については、指定管理者の内部システムサーバを含めて外部とつながっていない。
- ・(2) について、指定管理者制度の導入を機に、開館日時を拡大し、今まで以上に利用しやすくなったと認識。通勤通学客が多い駅前の立地特性や、民間のノウハウを活かしたサービスを提供。
- ・(3) について、指定管理者には業務仕様書において、労働基準法などの労働関係法令を含め各種法令の遵守を求めている。なお、従業員の労働条件に関しては、毎年度モニタリングを実施。
- ・(4) について、鶴川駅前図書館以外の地域館への指定管理者制度導入については、鶴川駅前図書館への指定管理者制度導入の効果を検証したうえで、検討。

熊沢 あやり議員（9月6日）

英語教育について

- (2) 図書館における取組。

(生涯学習部回答)

「えいごのまちだ」を支援するとともに、広く子どもたちの英語学習に役立つことを目的に2020年から英語多読に取り組み、「図書館で英語を学ぼう！」をテーマとした英語多読コーナーを、2020年3月に中央図書館、鶴川駅前図書館、忠生図書館の3館に設置。小さな子どもでも分かりやすいパンフレットや、読んだ本を記録できる「英語多読ノート」など、図書館が独自作成したツールも配布し、多くの方に手に取っていただいている。

おく 栄一議員（9月7日）

都内有数といわれる町田の縄文資料のさらなる整備・充実をもとめて

- (1) 市内出土の縄文資料に対してどのように評価しているか。
- (2) 出土した縄文資料はどのように維持・管理されているか。
- (3) 国内での出土が2例ときく中空土偶（通称「まっくう」）を有効活用すべきではないか。

(生涯学習部回答)

- ・町田市では、約140,000点の縄文資料が出土し都内有数の質と量を誇る縄文資料の宝庫と認識。
- ・(2)について、主に町田市考古資料室に保管。その他、ゆくのき学園の余裕教室や金森図書館の倉庫でも保管。資料は出土した遺跡ごとに土器、石器などに分類し、記録し、各保管場所で適切に維持・保管。
- ・(3)について、町田市内の田端東遺跡で出土した中空土偶は、頭部だけが発掘されたが、その造形が国内で唯一、函館市所蔵の国宝「土偶」（愛称：カックウ）と顔の造形が似ていると評価され、2014年に市の有形文化財として指定。町田の中空土偶であることから「まっくう」の愛称をつけ、2019年にはまちだ縄文キャラクターとしてイラストや絵本を制作。その後は、町田の縄文文化を紹介するさまざまな機会にキャラクターの「まっくう」を活用。来年2023年2月には町田市考古資料室の展示リニューアルを予定。その際には、「まっくう」を紹介する特別コーナーを新たに設置検討。

<常任委員会>

(藤田 学議員)

図書館全体の蔵書数と市民一人当たりの蔵書数は。

また、多摩26市における位置とそれに対する図書館の考えを伺いたい。

(生涯学習部回答)

2021年度末の蔵書数は118万1610冊、市民一人では2.74冊。蔵書数は多摩26市で4位だが、一人当たりの蔵書数は26位。

一方で、蔵書がどれくらい活用されているかを示す蔵書回転率は約2.6回転で、多摩26市中1位。また、近隣自治体との連携を進めてきたことで、現在では合計10市の図書館の蔵書を利用いただけるようになった。蔵書の充実は図書館の使命であり、ニーズも高いと認識しており、引続きアクションプランの取り組みを進めていく。

(藤田 学議員)

市民大学とことぶき大学の取り組みと、その評価や特徴的なものを伺いたい。

(生涯学習部回答)

市民大学は14講座で2800人ほど、ことぶき大学は6事業45講座で1100人ほどの方が受講。

市民大学は歴史の講座でデジタル配信したが、課題としてはデジタルで申し込む方が少なかった。ことぶき大学はコロナ禍で人数を絞って実施したため、応募が500%を超える講座もあった。

(田中 美穂議員)

2021年度はあり方見直し方針が示されたが、青年学級についてどのような審議があったのか。

(生涯学習部回答)

生涯学習センター運営協議会では、青年学級は大変重要な事業であり継続して欲しいとの意見があった。

(木目田 英男議員)

町田デジタルミュージアムについて、資料2000点が掲載されているが、市としては完成したとの認識か。

(生涯学習部回答)

資料2000点の掲載を持って一旦整備を完了。

(木目田 英男議員)

文学館について、ZARD展など特徴的なイベントが多いが、企画はどのような考えで実施しているのか。

(生涯学習部回答)

若い方に向けたPRを考えている。「文学」だけでなく「ことば」と概念でとらえるようにした。ZARD展も、文学ではなく歌詞に着目。イラスト中心の展示など、なるべく若い方に利用を広げるといった意識でイベントを実施。

(松葉 ひろみ議員)

生涯学習センター費について、デジタルデバイド対策講座参加者の反響などはどうか。

(生涯学習部回答)

非常に好評な講座だったと認識。初歩的な内容なので一人で来ても安心して受講できるとの声をいただいている。2022年度も実施しており、町内会への出張回数を増やす予定もあり、地域での展開も検討。

(矢口 まゆ議員)

デジタルデバイドについて、市の中での連携の状況を聞きたい。講座受講者がどのような事ができるようになったのかを聞きたい。

(生涯学習部)

各施設へチラシを置くなどの連携。受講者アンケートでは、90%が出来るようになったと回答。

(新井 よしなお議員)

町田デジタルミュージアムについて、多くの方に知ってもらうことが大切として、周知方法は。

(生涯学習部回答)

「広報まちだ」の他、ポスターを小中学校や関連施に配布。また、PR動画をYouTubeで公開。